

報道機関各位

公益財団法人東北活性化研究センター  
「内閣府 景気ウォッチャー調査 平成24年8月東北分  
(新潟を含む東北7県)」について

公益財団法人東北活性化研究センター（会長：高橋宏明・東北電力㈱取締役会長）は、このほど、「内閣府 景気ウォッチャー調査 平成24年8月東北分(新潟を含む東北7県)」についてとりまとめましたのでお知らせいたします。

(1) 現状判断（3か月前との比較、方向性）

- ・現状判断DI「45.0」（+2.0）は、5か月ぶりに前月を上回ったものの、景気判断の基準となる50を4か月連続で下回った。
- ・家計動向…残暑が続き、夏物商材に動きがみられる。DIは「43.4」（+2.4）と5か月ぶりに前月を上回ったが、景気判断の基準となる50を4か月連続で下回った。
- ・企業動向…円高傾向から、製造業における受注や輸出環境の厳しさに変わりはない。DIは「46.3」（±0.0）と前月から横ばいで、景気判断の基準となる50を5か月連続で下回った。
- ・雇用動向…求人は業種によりばらつきはあるものの、流通やサービス業を中心に増加している。DIは「53.4」（+3.4）と2か月ぶりに前月を上回り、景気判断の基準となる50を14か月連続で上回った。

(2) 先行き判断（3か月先の見通し、方向性）

- ・先行き判断DI「43.4」（▲1.2）は、4か月連続で前月を下回り、景気判断の基準となる50を4か月連続で下回った。
- ・家計動向…消費税増税問題等による先行き不透明感から消費マインドへの影響が懸念されている。また、低価格志向を背景とした価格競争が続いている。DIは「40.2」（▲3.1）と4か月連続で前月を下回り、景気判断の基準となる50を28か月連続で下回った。
- ・企業動向…建設業は引き続き震災復興需要が見込まれている。DIは「50.6」（+1.8）と2か月ぶりに前月を上回り、景気判断の基準となる50を4か月ぶりに上回った。
- ・雇用動向…非正規雇用ではあるものの、新規求人は堅調な動きが見込まれる。DIは「51.1」（+5.6）と2か月ぶりに前月を上回り、景気判断の基準となる50を2か月ぶりに上回った。

### (3) キーワード

- ・プラスのキーワード
  - …天候（現状）
- ・マイナスのキーワード
  - …天候（先行き）、消費税増税（先行き）、政局（先行き）、低価格志向（先行き）、競争（先行き）

以上

#### <添付資料>

- 調査結果の概要

#### <お問い合わせ先>

公益財団法人 東北活性化研究センター(担当:佐藤(健))

〒980-0021 仙台市青葉区中央2-9-10

TEL : 022-222-3394 FAX : 022-222-3395

## 【調査結果の概要】

### 1. 今月のDI※

#### (1) 現状判断（方向性）DI

3か月前との比較である現状判断DIは、「45.0」（+2.0）と5か月ぶりに前月を上回ったものの、景気判断の基準となる50を4か月連続で下回った。

	23年						24年							
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
東北現状	59.5	49.9	47.8	50.4	49.8	49.6	47.3	47.2	53.6	51.2	47.8	45.3	43.0	45.0
家計動向関連	59.6	46.6	44.4	48.9	48.4	46.7	43.9	43.0	52.3	50.2	47.0	42.7	41.0	43.4
企業動向関連	57.5	52.5	52.6	50.0	50.6	51.3	50.0	51.2	51.3	47.5	46.9	48.8	46.3	46.3
雇用関連(参考)	63.1	66.7	60.7	60.7	57.1	65.5	64.3	66.7	66.7	64.8	54.5	55.7	50.0	53.4

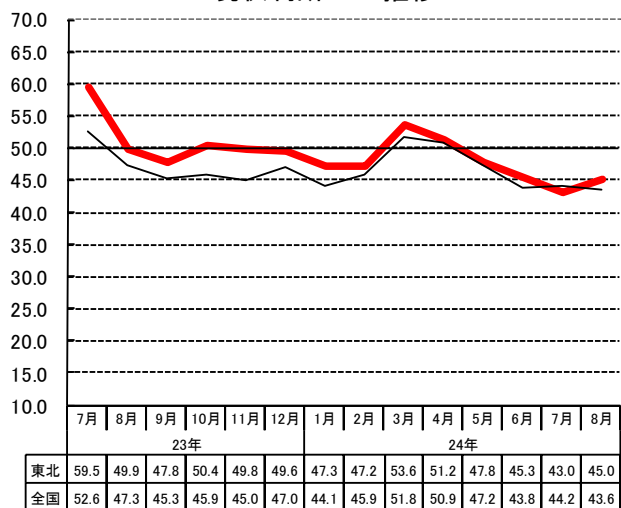
#### (2) 先行き判断DI

3か月先を予想する先行き判断DIは、「43.4」（▲1.2）と4か月連続で前月を下回り、景気判断の基準となる50を4か月連続で下回った。

	23年						24年							
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
東北先行き	51.0	48.6	46.7	49.4	46.6	47.2	50.9	50.4	49.1	51.1	49.4	45.8	44.6	43.4
家計動向関連	47.4	45.4	45.3	49.6	45.7	44.3	48.4	48.2	46.9	49.5	49.3	43.8	43.3	40.2
企業動向関連	56.3	54.4	49.3	45.6	46.3	51.3	54.3	54.9	51.3	55.6	48.8	49.4	48.8	50.6
雇用関連(参考)	64.3	59.5	51.2	54.8	53.6	58.3	60.7	56.0	59.5	53.4	51.1	52.3	45.5	51.1

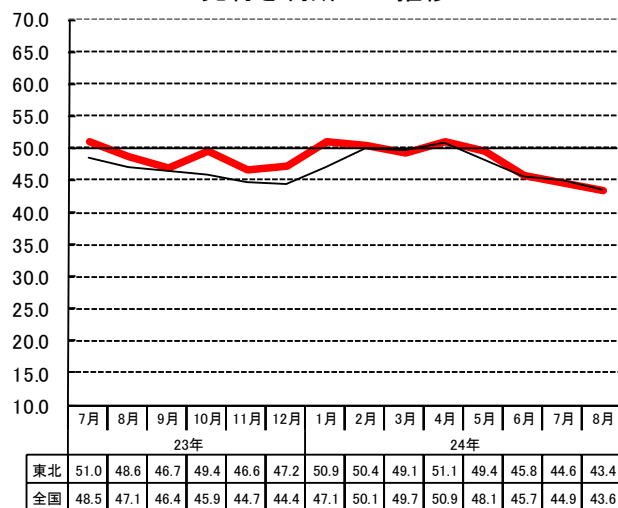
※DI（Diffusion Index）について…50を基準とし、50を超えると景気が良い方向にあることを示す。

現状判断DIの推移



— 東北 — 全国

先行き判断DIの推移



— 東北 — 全国

## 2. 調査の概要

調査期間 平成24年8月25日～31日

回答者数 205/210名、回答率97.6%（全国1,892/2,050名、92.3%）

### 3. 特徴的と思われる判断理由（ウォッチャーのコメントから抜粋）

#### （1）現状判断理由

##### ○「やや良くなっている」

- （商店街）…7月後半からお盆過ぎまで大変暑い状況が続き、夏物衣料も活発で、夏物セール動きも非常に良く、飲食、アパレル共に好成績を示している。
- （コンビニ）…来客数が前年比105%と好調を持続させており、売上高も同106%と良好である。長引く暑い夏の影響でソフトドリンクが115%と伸びており、ビール、アイス、デザートも軒並み好調である。唯一たばこのみがマイナスになっている。
- （酒類専門店）…今月は雨も少なく、気温も高かったためにビアガーデン等のビールの販売量が良い。また、飲食店がにぎわいをみせるお盆もあまり期待をしていなかったが、帰省客の動きが予想以上に良く、販売量もやや上昇傾向にある。
- （ガソリンスタンド）…猛暑の影響で燃料油の販売が好調である。販売単価の下落が続いており収益が厳しくなっているが、販売量増で何とかカバーしている。しかし、燃料油以外の販売は低調であり、依然として厳しい状況は続いている。
- （遊園地）…連日暑さが続いたが、猛暑日までにはならなかったことや、雨が降らなかったことから、お盆の週を中心に低迷した前年や震災前に比べても、20%近く増加している。
- （新聞社[求人広告]）…業種によってばらつきはあるが、流通やサービス業で一時雇用から正社員の募集が増えている。
- （職業安定所）…円高等の影響で製造は良くないが、製造を除いた建設、サービス、小売、卸売の各業種は3か月前からみると、大幅に増加している。

##### ○「変わらない」

- （酒類専門店）…例年8月はねぶた祭りで販売量が多くなるが、今年は前年よりかなり落ち込んでいる。
- （百貨店）…売上は全店で前年をクリアしており、3か月前のトレンドと変化はない。ただし、アイテム別に見ると、前年はお中元を中心に震災見舞いに対する御礼の需要により売上が大きく伸びた食品、生活用品が苦戦している。またクリアランスを後ろ倒しで実施したが、婦人服に関しては定価品、セール共に前年をクリアし成功したとみている。
- （スーパー）…来客数、競合店の状況、単価の動きのいずれを見ても変わっていない。
- （衣料品専門店）…残暑が続き、夏物商材の消化が進んでいる反面、秋物商材の立ち上がりが遅れている。
- （乗用車販売店）…エコカー補助金が間もなく終わろうとしているが、駆け込み需要は多くない。
- （白衣・ユニフォーム専門店）…夏場の売上確保が非常に難しい。何が売れるのかがはっきりしないし、実際何が動いているのかが全くわからない。商品の絞込みができない。
- （都市型ホテル）…夏の観光資源には乏しい当地だが、今年は復興イベント等があり、例年になく福島を訪れる人が非常に多くなっている。例えば、料飲施設や宿泊施設の動きが好調なのもそれに連動しているものと考えられる。また、今年は猛暑であり、当社のビルは駐車場が地下にあるが、路面の駐車と違い日差しを避けることができるため、駐車場の入りが良いという特徴も見られる。
- （観光名所）…好天に恵まれ、特に雨も降らず、乗船客数が伸びており、つられて売上も伸びている。
- （美容室）…プラスメニューに手を出さないというか、基本的なカットなどをやっている。プラスアルファという意識は低いようである。
- （農林水産業）…好天に恵まれ、ももの糖度が高くなっている。また、お盆前の出荷ができたため、売行きも良くなっている。しかし、風評被害がまだ続いており、回復はしたものの、贈答分は東日本大震災前の7割程度である。
- （建設業）…復興関連事業の発注が継続的に続いており、市場環境として大きな変化はない。

(企画業) …消費税増税への動きで、一時的に住宅需要の増加が期待できるもまだ具体的な商談への発展がない。現在は震災復興地域の需要に対応するので手いっぱい状況である。

(職業安定所) …新規求人数は16か月連続で前年同月を上回っているが、24年1月以降続いていた前年同月比2けたの増加率は今月で途切れている。

### ○「やや悪くなっている」

(商店街) …記録的な猛暑で、商店街の通行量が日中やや減っている。特に昼のサラリーマンのランチの売上が落ちている。逆にTシャツなど夏物衣料は依然好調だが、値段の高い秋物の動きが鈍く、総体的にはマイナス基調である。

(医薬品販売店) …消費税増税法案が国会で可決されたことにより、心理的にだが、客は買い控えをしているところが沢山みられる。

(スーパー) …震災後1年が過ぎてのお盆商戦で、消費の拡大を期待したが、客の購買意欲は引き続き低調である。帰省についても分散型で、かつてのお祭りのような購買等ではなく、消費の盛り上がりには欠けた商戦となっている。お盆であっても無駄な消費はしていない。

(衣料品専門店) …残暑の影響で、夏物、セール品は売れているが、例年この時期から売れ始める秋物が全く売れていないため、結果的に売上は前年を下回っている。

(高級レストラン) …お盆明けで、会社単位での宴席、懇親会等の利用時期になるが、グループが細分化して、少人数の利用で各所に分散しているようである。

(食料品製造業) …仙台七夕まつりも平日開催と人出も少なく、気温も高くお土産は苦戦している。お盆の帰省はまずまずであったが、8月トータルの前年比では苦戦している。

(輸送業) …複数の荷主の生産調整及び値引き要請を受けざるを得ない状況にある。また、一時期安定していた燃油費が上昇傾向に転じている。

(人材派遣会社) …今月は売上は前年比5%程度、利益は同20%ダウンしている。全体需要の一服感に加え、人材不足が足かせとなりブレーキ感もあり、やや悪くなっている。

### ○「悪くなっている」

(広告代理店) …株主総会後の経費圧縮策が具体的に進められている。全体的なボリュームダウンや、物件数の減少など、厳しさは増す一方である。

## (2) 先行き判断理由

### ○「やや良くなる」

(建設業) …下期以降、遅れていた国交省関連の出件が見込まれるほか、高台移転や防潮堤等震災復興事業の出件が各県で見込まれる。

(公認会計士) …小売り関係は業績が全般的に前年を下回る企業が多くなってきた。一方、建設関係はまだまだ復興需要が続くと予想されるので、全体的には良くなることが見込まれる。

(人材派遣会社) …地元企業の本採用等が少しずつだが増えてきている。震災対応において、いろいろな面で人が足りなくなっていることがこうしたニーズに繋がっているようである。こうした状況がしばらく続けば、地元採用も増えていき、年末にかけて多少期待ができる部分が出てくるとみている。

### ○「変わらない」

(スーパー) …商圈内競合店数の変化はなく、現状推移からの好転は難しい状況である。残暑が続き、秋商材の売行き次第によっては現状推移が変わることも考えられるが、現状からみると難しい。

(百貨店) …夏場のセール品や旅行などモノ、コトの消費は一服感がある。また、将来的な税率アップなどの経済政策により、徐々に消費への影響が出てくる。季節が変わっての必需品の購買は活発になるとみているが、残暑が続けば、秋物消費へ影響が出てくることも考えられる。

(衣料品専門店) …今後、徐々に夏物商材需要が失速していくなか、中期予報では9月まで平年より気

温が高く推移する予報が出ており、秋物商材の立ち遅れが懸念される。

(家電量販店) …東京電力福島第一原子力発電所事故の補償金をあてにした買物、もしくは補償金が入金されたことによって、普段買わない商品を購入されるという方もまだまだいる。一時期よりは少なくなりつつあるが、今のところ安定した推移をしている。避難している方たちによる需要もあるので、今のところこのままの状況が続くのではないかと見通している。年末に向けては夏物関係は一旦収束する。

(乗用車販売店) …エコカー補助金の反動減が心配されるが、駆け込み需要がさほど大きくなかったことと秋からの新型車発売効果で何とかカバーできるとみている。

(食品専門店) …空梅雨から夏もほとんど雨が降らず、秋の農産物が心配である。それにとまなう食品の価格上昇により、買い控えに拍車が掛かる気がしてならない。

(都市型ホテル) …被災地復興支援の行事、イベント等で引き続き利用がある。宿泊、宴会共に前年好調時とほぼ同様であり、今後3か月先までの予約状況も引き続き堅調に推移している。

(建設業) …周辺の工務店も景気が良いようで、今後は職人不足が懸念される。

(職業安定所) …新規求人数は増加しているが、理由として非正規求人が増加しているためであり、景気は回復途上である。

## ○「やや悪くなる」

(スーパー) …10月に競合店が商業集積、ショッピングタウンとして出店を予定しており、1店舗だけでなく、地域としてかなりの集客、売上の減少が予測される。

(コンビニ) …同業他社の新規店舗開業が継続的に進むことが予測され、シェアの縮小は否めない状況であり、厳しい環境が続くと考えている。

(自動車備品販売店) …車検整備入庫の減少が進み、整備士のリストラが進む。自動車整備工場関連の淘汰も加速する。

(酒類専門店) …国政選挙等の要因が絡むと地方の飲食店を直撃するため対応を考えておく必要がある。また選挙が無くても予断を許さない状況が続くとみられる。

(ショッピングセンター) …9月まで残暑が続く予報が出ており、引き続き、秋物アパレルの動きの鈍化が見込まれる。

(旅行代理店) …現在の個人旅行の好調さがこのまま続かず、この秋くらいから通常に戻ってくるのではないかと。通常に戻るということは、少し減退してくるので、やや悪くなるかと考えている。

(通信会社) …値下げによる大手通信会社の熾烈な客の奪い合いがますます加速している。解約防止にはなっているが、新規の顧客開拓には至っていない。中小の通信会社は、この波に巻き込まれ苦戦を強いられている。年末に向けてますます競争が激化するので、一部の大手企業以外はどこで歯止めをかけるか、低迷が予想される。

(観光名所) …天候に恵まれフリー客の出足が良かったため、乗船がひっぱられ、売上等も伸びたが、天候には左右されない団体の入込状況は前年よりも若干落ち込んでいる。このままの状況が続けば悪くなっていく。

(電気機械器具製造業) …海外への生産シフトも含めて国内での受注が減っているというのがものづくり関連企業の一様な状況である。復興景気も一段落したので、今後もこのままならば景気は悪くなっていく。

東北地域に関する解説は、当センターの責任でまとめたものです。

以 上